

資源物中間処理業務の民間委託について

1 概要

苫小牧市及び安平町・厚真町の行政区域内において収集する資源物（缶・びん・ペットボトル・紙パック）を選別・梱包・保管している苫小牧市資源化センターは、糸井清掃センターからの移設後、約15年が経過し、老朽化や狭隘化が進行している。このため、早急な再整備が必要と判断し、整備手法の検討を行った結果、民間事業者のノウハウを活用した施設整備・運転管理を実施することで費用の圧縮が可能となることから、公募型プロポーザル方式によって本業務の受託候補者を特定し、第7回定例会に債務負担行為の補正予算案として提出し、資源物中間処理業務委託（10年）について議決された。

2 受託候補者の特定

【受託候補者の特定理由】

提案書及びヒアリングにより提案内容を検証した結果、業務を適正に実施するための人員配置や安全対策、従業員教育などの提案がされており、確実な事業実施が期待できる。

また、類似施設における実績により、成果品の品質や選別業務に対する経験が豊富であり、本業務の適正な遂行が期待できる。

既存施設の有効活用などにより、経費の縮減を行うとともに、設備や人員配置の工夫により品質向上への対策が図られている。

このようなことから、適切な業務の遂行が図られるものと判断し、明円工業株式会社環境資源部苫小牧工場を受託候補者として特定した。

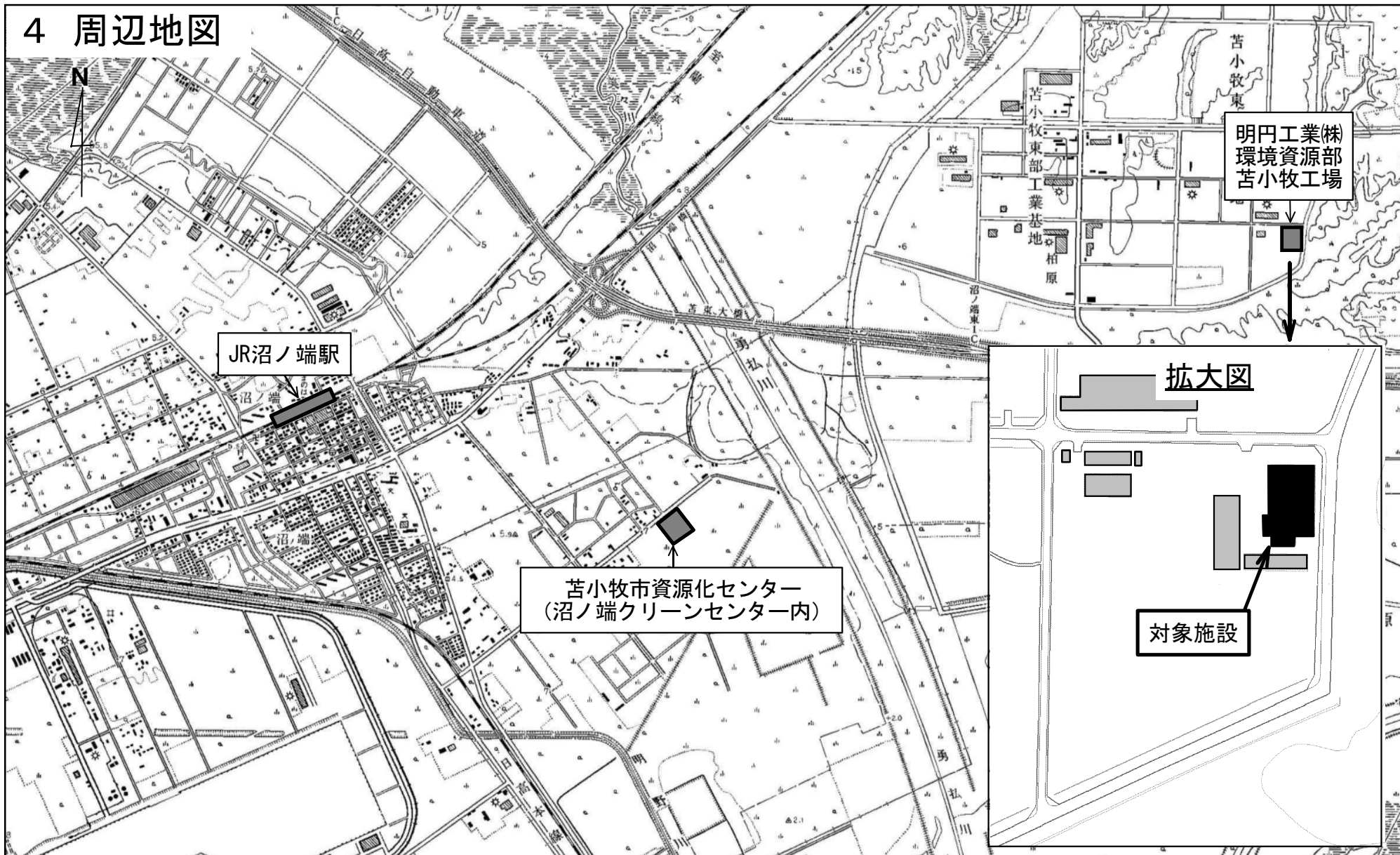
【受託候補者】

事業者名 明円工業株式会社環境資源部苫小牧工場
 所在地 苫小牧工場 苫小牧市字柏原6番277
 (本社 歌志内市字本町1027番地71)
 従業員 18名
 主な事業 廃プラスチック類中間処理業務

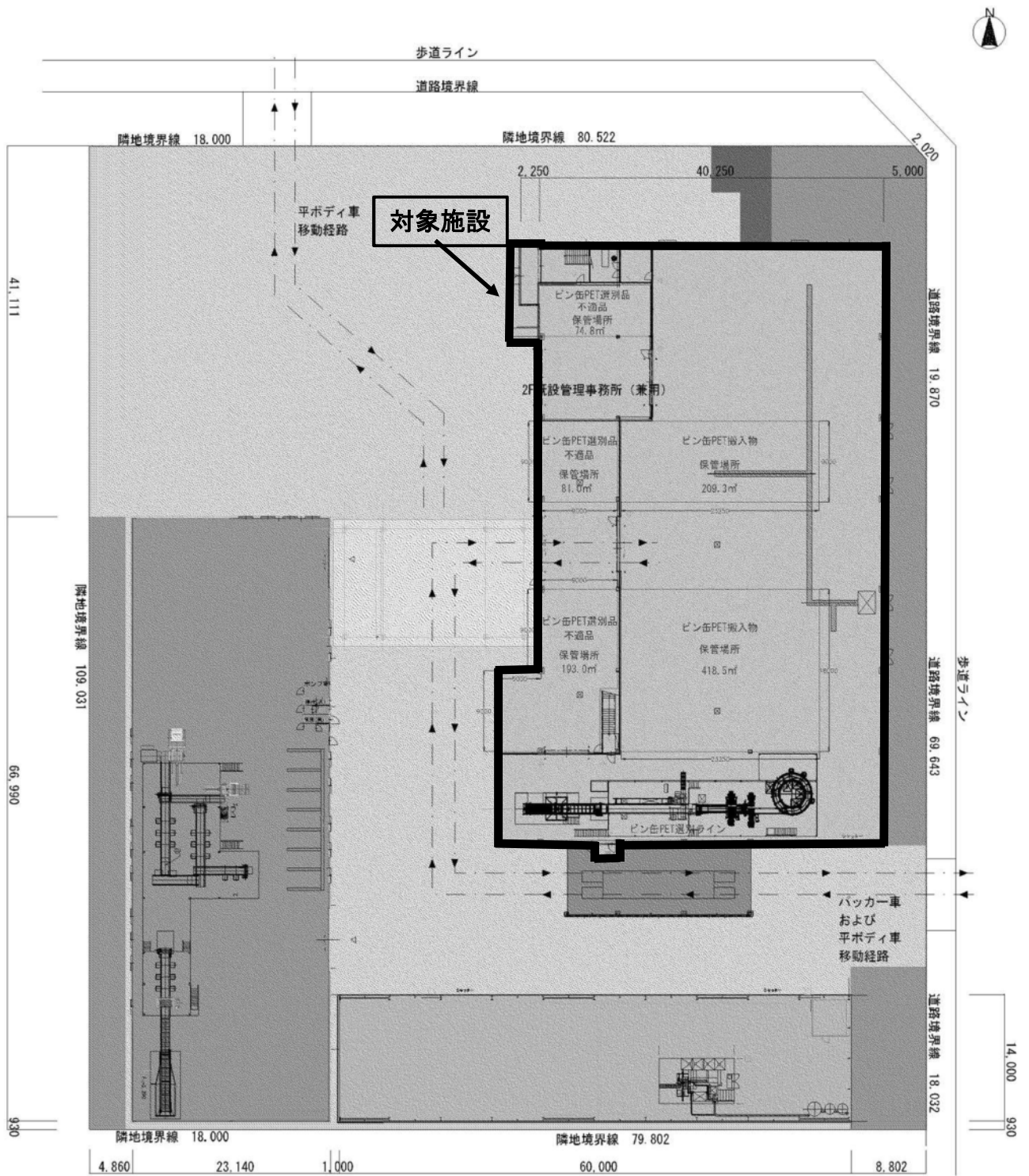
3 これまでの経緯と今後のスケジュール

平成19年3月	「苫小牧市資源物分別拡大基本計画書」を策定し、資源化センターのあり方と新たな施設整備のあり方について検討を行うこととした
平成22年3月	「一般廃棄物処理基本計画」を策定し、資源化センターの今後のあり方について検討を行うこととした
平成28年3月	「一般廃棄物処理基本計画【改定版】」を策定し、資源化処理について民間活力の積極的な活用に向けて、準備を進めることとした
平成28年6月29日	厚生委員会において整備手法について提示
平成28年8月15日	公募型プロポーザル方式によって受託候補者を特定
平成28年9月	第7回定例会にて債務負担行為の補正予算議決
平成28年9月	契約締結し、中間処理施設整備開始
平成29年4月	中間処理施設稼働

4 周辺地図



5 配置計画図



ピン缶PET搬入物保管場所	209.3 ^m ₂
〃	418.5 ^m ₂

ピン缶PET選別品・不適品保管場所	74.8 ^m ₂
〃	81.0 ^m ₂
〃	193.0 ^m ₂

